

# 令和5年度事業報告

## I はじめに

令和5年度の事業は、約3年半の長期間に渡り続いてきた新型コロナウイルス感染症が5月に2類から5類へと移行し、インフルエンザと同等の取扱いとなり、社会全体がほぼ通常生活に戻りつつある中でのスタートとなりました。

しかし、高齢者集団であるシルバー人材センターとしては、5類移行後も感染対策を講じながら事業運営を進めてきたところです。

こうした中で取組んできた令和5年度の主な事業の結果としては、

- ① 会員数については、シルバーだよりはむらの全戸配布による会員募集や特に女性会員の増強を目的に、市内関係団体への女性会員募集チラシの配布や会員紹介キャンペーンを活用した声掛けなど創意工夫した取組みを行ってきましたが、企業等の定年制や再雇用制度の延長の影響が大きく、特に60歳代の新規入会者は伸び悩んでおります。また、少なからずコロナ感染症の影響があったことも否めず、令和6年3月末現在583名となり、前年度から6名の減少となりました。
- ② 受託事業(請負)では、受託件数は4,347件と昨年度から6件の微増で推移しましたが、契約額は212,142千円で昨年度から624千円の微減となりました。この内訳としては、公共の一部の事業が民営化により12,489千円の減少、逆に民間が11,865千円の増加となりました。

この結果、公民比が公共38.3%(5.7ポイント減)、民間61.7%(5.7ポイント増)と民間の比率が増加いたしました。

- ③ 派遣事業では、受託件数は2件(4件減)、契約額は24,970千円(6,108千円減)といずれも減少しました。これは公共の一部事業が民営化されたこと及び民間の契約が令和5年度中に契約期間満了で終了となったことによるものです。

この結果、公民比が公共98.9%、民間1.1%となり、派遣事業の令和5年度末現在の民間受注はゼロとなりました。

- ④ 受託事業(請負)の推進と並行して、各部会(総務部会、広報部会、事業部会、女性部会)、各委員会(安全・適正就業推進委員会、就業開拓委員会)がそれぞれの委員の知恵を結集してセンター独自事業などに取組み、一定の成果を上げることができたことは特出するものがあります。
- ⑤ また、令和5年度は「第2次中期計画」の最終年度として過去5年間の事業実績を検証するとともに、令和6年度から令和10年度まで5年間の「第3次中期計画」を6回に渡り開催した中長期計画策定委員会で、各委員が活発な議論を行い策定したことも大きな特徴と言えます。
- ⑥ 更に、公益社団法人が求められている地域貢献活動として、市内清掃活動・小学校児童見守り活動・保育園訪問活動などの各種ボランティア活動にも多くの会員が参加して実施したところであり、関係各機関から感謝されました。

以上、令和5年度の事業報告の概要といたしますが、事業計画に定めた個々の事業実施結果については、次ページ以降の通りといたします。

令和6年5月

公益社団法人羽村市シルバー人材センター  
会長 浅野光男

## Ⅱ 事業実績

### 1 会員の異動状況

令和5年度		令和6年3月末 会 員 数	前 年 度 比
入会者	退会者	583 人 (男368人 女215人)	△6人 (△1.0%) (男△7人 女1人)
63人	69人		
男34人 女29人	男41人 女28人		

### 2 事業実績

#### (1) 受託事業 (請負)

項 目	実 績	前 年 度 比
受 託 件 数	4,347 件 (公共550件 民間3,797件)	6件 0.1%
契 約 金	212,142,289 円 公共 81,149,951 円 民間 130,992,338 円	△624,198 円 △0.3%
配 分 金	193,915,309 円	△1,761,388 円 △0.9%
就業延実人員	16,560 人	480人 3.0%
就業延日人員	64,350 人	622人 1.0%
公 民 比	38.3 : 61.7	公共△5.7pt 民間5.7pt
就業実人員	478 人	3人 0.6%
就 業 率	82.0%	1.4 ポイント

#### (2) 労働者派遣事業

項 目	実 績	前 年 度 比
受 託 件 数	2 件 (公共1件 民間1件)	△4件 △66.7%
契 約 金	24,969,822 円 公共 24,683,465 円 民間 286,357 円	△6,108,116 円 △19.7%
賃 金	18,923,542 円	△5,968,513 円 △24.0%
就業延実人員	249 人	△114人 △31.4%
就業延日人員	2,534 人	△1,093人 △30.1%
公 民 比	98.9 : 1.1	公共12.3pt 民間△12.3pt
就業実人員	27 人	△23人 △46.0%
就 業 率	4.6%	△3.9 ポイント

### Ⅲ 事業の実施状況

※事業名欄

(新規)：中期計画に掲げた事業で、当該年度に新たに記載した事業

(追加)：中期計画に掲載はなく、当該年度に新たに追加した事業

(再掲)：それ以前に掲載されている事業

#### 1 会員の増強

シルバー人材センター事業を広く市民等に理解してもらうため、次の事業を実施し会員増強に努めました。

##### (1) センターPRの強化

「シルバーだよりはむら」などの広報やホームページによるPR、会員の口コミによるPR等を推進しました。

事業名	実施結果	備考
① 『シルバー人材センター』のイメージアップ活動 【広報部会】	シルバーだよりはむらやホームページ等で、ボランティア活動、各種教室、サークル活動等、仕事以外の活動についてPRを行った。	仕事以外の活動を含めピックアップしてPRした。
② 女性をターゲットにしたPR 【女性部会】	・シルバーだよりはむら(8月号)で「女性会員募集」の記事を掲載した。 ・小作駅・羽村駅掲示板に女性会員募集ポスターを掲示した。(8月～11月) ・羽村市高齢者クラブ連合会理事会時に女性会員募集チラシを配布した。 (10月 28団体10部ずつ)	シルバー女性会員の魅力度を一般市民へ浸透させ、シルバーの認知度をより高め、女性会員数の増強を図った。
③ 『シルバーだよりはむら』の発行、会員募集チラシのポスティング 【広報部会】	『シルバーだよりはむら』会員・発注者向け…5月、10月 市内全戸配布…8月、1月 『会員募集・仕事募集チラシ』 市内全戸配布…1月	会員及び市民に配布し、会員への情報の提供やシルバー人材センター事業の活動状況を広く周知した。
④ 新規会員獲得のための継続的な活動 【総務部会】	新規入会キャンペーンとして、令和5年9月～12月まで「一人一会員入会運動」を実施した。入会者4名	会員数の増強を図った。
⑤ Web入会の推進 【広報部会】	シルバーだよりはむら、ホームページ、会員募集及び仕事募集チラシでPRを行った。 申込数18件 入会者8名	ホームページからの入会を推進し、会員数の増強を図った。

事業名	実施結果	備考
⑥ ハローワークとの連携 【就業開拓委員会】	ハローワークにおけるシルバー会員向けの求人ニーズを適宜確認した。また、センターパンフレットを配架依頼した。	今後、必要に応じて情報交換を行っていく。
⑦ 市高齢者施策を通じた PR の依頼（市広報等への掲載依頼） 【広報部会】	市広報等に入会説明会や各種講習会及び各種教室のお知らせを掲載した。（掲載延回数 20 回） 羽村駅・小作駅に「会員・仕事募集チラシ」を掲示した。	シルバー人材センター事業の PR を行った。
⑧ 「シルバーはむらふれあい祭り」の実施 【総務部会】	11 月 25 日実施 参加者 700 名	市民・会員相互の交流を図るとともに、シルバー人材センター事業への理解と PR に努めた。
⑨ 東京しごと財団が行う「広報活動強調月間」に併せた PR 活動の実施 【広報部会】	・市内清掃ボランティア 10 月 20 日実施 参加者 103 名 ・シルバー人材センターオンライン写真展（10 月、東京しごとセンター）	『羽村市シルバー人材センター』の認知度を高め、会員増強に繋げた。
⑩ 市などが主催するイベント等への参加 【広報部会】	『はむら花と水のまつり 2023』 3 月 25 日～4 月 20 日出店 『はむら市民と産業のまつり 2023』 11 月 4 日、11 月 5 日出展	シルバー人材センター事業の紹介や PR 活動を行いつつ、就業開拓や会員の入会の促進を図った。
⑪ 女性会員交流会の実施 【女性部会】	10 月 13 日 参加者 12 名	参加会員をグループに分け、就業に関することを中心に活発な意見交換が行われ、女性会員の交流の場として役立った。
⑫ 手芸講習会 【手芸班】	・「指編みで作る椅子マット」作り 9 月 25 日開催 参加者 4 名 ・「ちりめん干支（辰）の置物づくり」作り 11 月 16 日開催 参加者 8 名 ・「ちりめん細工のおひな様作り」作り 2 月 19 日開催 参加者 6 名	手芸講習会の開催を通じて、手芸品販売促進と手芸班会員の増強を図った。
⑬ ふれあい体験講座 【女性部会】	「サボテン教室」 3 月 13 日 参加者 24 名	会員の文化活動の推進を図った。

事業名	実施結果	備考
⑭ 健康推進事業の推進 【女性部会】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防体操を実施した。 〔毎週火曜日〕 46回実施 参加者延 380名</li> <li>〔毎週金曜日〕 40回実施 参加者延 199名</li> <li>・「誰でも簡単に！美味しくバランスのよい食事作り」レシピを全会員に配布した。 (12月)</li> <li>・市主催「お口の機能向上講座」に参加した。 2月15日 参加者11名</li> <li>・「健康マージャン」の検討のため、立川市SCへ視察を行った。(2月27日)</li> </ul>	フレイル（虚弱）予防を推進し、健康寿命の延伸を図った。 ※フレイル（虚弱）とは、健常から要介護へ移行する中間の段階
⑮ シルバー会員のアイデンティティの確立 【広報部会】（新規）	名札等の着用状況について、他センターへの情報収集を行った。	シルバー人材センターのブランドイメージを向上させ、就業している会員のアイデンティティを高めるため、次年度以降も引き続き検討する。  ※アイデンティティとは、「自分自身がセンターの会員であるという認識」のこと。

## (2) 入会説明会の充実

事業名	実施結果	備考
① 入会説明会の充実 【事業部会】	毎月1回15日（基準日）実施 出席者72名 入会者63名	入会の促進を図った。
② Web入会の推進 【広報部会】（再掲）	シルバーだよりはむら、ホームページ、会員募集及び仕事募集チラシでPRを行った。 申込数18件 入会者8名	ホームページからの入会を推進し、会員数の増強を図った。

## (3) 就業相談の充実

事業名	実施結果	備考
① HPでのタイムリーな就業情報の提供 【事務局】	会員専用ページ「Smile to Smile」に就業情報を掲載したほか、新入会員研修会で、「Smile to Smile」の紹介と登録推進を働きかけた。	タイムリーな就業情報の提供を推進した。

事業名	実施結果	備考
② 会員のメールアドレスに就業情報を送信するシステムの活用 【広報部会】	会員専用ページ「Smile to Smile」に就業情報を掲載し、未就業会員の解消に努めた。	登録者数 135 名
③ 就業相談の充実 【事務局】	毎月 1 回 1 日（理事会の翌日）実施 相談者 28 名	「事務局だより」に開催日時を掲載した。

#### (4) 様々な分野の仕事の開拓

事業名	実施結果	備考
① 資格等一覧の作成 【就業開拓委員会】	会員状況調査の中で、資格調査を行い、「活用したい資格・免許」等の一覧を作成した。	各会員に就業情報等の情報提供を行った。

#### (5) 会員の退会防止に向けた取り組み

事業名	実施結果	備考
① 未就業会員・短期就業等会員に対する意向調査の実施 【総務部会】	未就業会員・短期就業等会員に対する意向調査を実施した。(1月)	未就業会員等の意向を把握し、就業開拓・退会防止に役立てた。
② サークル活動の支援（新設を含む。） 【総務部会】	サークル活動について、入会説明会の際に、サークル紹介及びPRを行った。	サークル活動の支援を行い、会員増強及び退会防止を図った。

#### (6) 福祉・家事援助、育児支援分野の仕事の開拓

事業名	実施結果	備考
① 会員コーディネーターの設置 【事務局】	2 名体制で設置した。	福祉・家事援助サービス事業の推進を図った。
② 家事援助就業会員の増強 【事務局】	シルバーだよりはむら（8 月号全戸配布）に、家事援助就業会員募集の記事を掲載した。	家事援助サービスの事業量に応じた会員の確保に努めた。

## 2 事業実績の拡大

シルバー人材センター事業を広く市民等に理解してもらうため、次の事業を実施し就業の拡大や開拓に努めました。

(1) 就業開拓

福祉・家事援助、子育て支援分野の仕事の開拓、高齢者にふさわしい仕事の確保、ホワイトカラー層からの希望の多い事務系職種の就業拡大・開拓を行いました。

事業名	実施結果	備考
① 就業開拓員の配置 【就業開拓委員会】	就業開拓員 1 名を事務局に配置した。	
② 就業開拓委員会の開催 【就業開拓委員会】	7月25日、11月8日、2月7日 年3回開催	会員の多様な働き方に対応した就業先の確保とシルバー事業の拡大について検討した。
③ PR チラシの配布、ポスティング 【広報部会】 【就業開拓委員会】	「はむら花と水のまつり2023」や「はむら市民と産業のまつり2023」において、会員・仕事募集依頼のチラシを配布した。 シルバーだよりはむらに「スマートフォン教室」や会員募集及び仕事募集の記事を掲載しPRを行った。	「シルバー」の認知度を上げ、新規受注の獲得を図った。
④ 地域に密着した家事援助、子育て支援、介護支援分野の仕事の開拓 【就業開拓委員会】	地域包括支援センターへの訪問(12月12日)及び民生児童委員会議(1月18日)開催時にリーフレットを活用し、家事援助サービス事業のPRを実施した。	「シルバー」の認知度を上げ、新規受注の獲得を図った。
⑤ 会員から希望の多い職種の就業開拓 【就業開拓委員会】	総務部会が実施した「未就業会員等意向調査」に基づき、就業希望意向のある会員へ就業情報を提供し、就業に繋げた。	
⑥ 新規受注先の就業開拓 【就業開拓委員会】	【羽村高齢者クラブ連合会】 実施なし 【保育園】 園長会事務局へ、新入園児の保護者向けに「布団カバー」作製チラシのPRを依頼した。 (10/10) 市内13園が実施する「保育展」で、PRスペースを設置していただき、「布団カバー」作製等のPRを行った。(11/22～11/25) 【空き家管理サービス】 市空き家対策担当係へ空き家所有者への通知にシルバーの「空き家管理サービス」PRチラシの同封を依頼した。 (9/13、2/16)	

事業名	実施結果	備考
⑦ 「Web 受注システム」のPRの推進 【広報部会】	実績 46 件	ホームページを活用した受注の拡大を図った。
⑧ 人手不足分野の人員確保による就業拡大 【総務部会】 【事業部会】	シルバーだよりはむら 10 月号（会員向け）に、人手不足分野を特集した就業会員募集記事を掲載した。	人手不足分野の人員供給体制を確保し、就業の拡大を図った。
⑨ パソコン教室等の各種教室のPRの強化 【広報部会】	シルバーだよりはむら（8 月号全戸配布）、ホームページ等で事業PRを行った。	センターHP 等に各種教室の紹介記事を掲載し、受講者増加のためのPRを行った。

## (2) リサイクル事業

羽村市のごみの減量及び再使用に関する市民意識の高揚を図るとともに、会員の就業の場を提供しました。

事業名	実施結果	備考
リサイクルショップ「トコトン工房」の充実	販売点数 2,940 点 (R4 3,403 点) 売上金 1,689,700 円 (R4 1,321,450 円)	羽村市リサイクルセンター内でリサイクル品の販売を行った。 【販売日】平日、第一日曜日 【販売時間】10:00~16:00

## (3) 自主事業

会員の持つ知識や経験を活かした自主事業を実施しました。

事業名	実施結果	備考
① パソコン教室	受講者 延 245 名 (R4 延 142 名)	市広報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
② 生花教室	受講者 延 153 名 (R4 延 187 名)	市広報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
③ 学習教室	受講者 延 48 名 (R4 延 49 名)	市広報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
④ 着付け教室	受講者 延 55 名 (R4 延 29 名)	市広報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
⑤ 英会話教室（中級）	受講者 延 194 名 (R4 延 228 名)	市広報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。

事業名	実施結果	備考
⑥ スマートフォン教室 【事業部会】 【就業開拓委員会】	デジタル活用支援推進事業を活用した「初心者向けスマートフォン教室」を実施した。 A日程：9/4、9/6、9/8 B日程：9/14、9/21、9/28 C日程：10/3、10/10、10/17 D日程：10/5、10/12、10/19 E日程：11/6、11/13、11/20 F日程：11/10、11/17、12/1 G日程：12/5、12/12、12/19 H日程：12/7、12/14、12/21 受講者 延97名 (R4 延88名) センター独自事業の「ステップアップスマートフォン教室」を会員対象に開講した。 (9月～) 受講者 延1名	「スマートフォン教室」を推進した。

### 3 安全就業の確立

会員が健康で安全に就業できるよう、就業中の事故或いは就業途上における交通事故等の防止を図るため、安全対策を推進しました。

#### (1) 安全管理体制

事業名	実施結果	備考
① 安全・適正就業推進委員会の開催 【安全・適正就業推進委員会】	7月19日、9月22日、12月14日、1月17日、2月14日 年5回開催	安全就業の方針の検討や対策、適正就業について協議した。
② 安全対策基本計画の策定 【安全・適正就業推進委員会】	安全・適正就業推進委員会において、検討を行い策定した。	安全・適正就業の推進を図った。

#### (2) 事故防止措置、安全教育、安全意識・適正就業の普及啓発

事業名	実施結果	備考
① 「安全就業基準」「安全10ヶ条+1」「交通ルール遵守」の周知・徹底 【安全・適正就業推進委員会】	新入会員研修会において、安全就業基準(会員のしおり)を配布するとともに安全・適正就業巡回で周知・徹底を図った。また、事務局だよりで、自転車交通安全に関する記事等を掲載したほか、「安全10ヶ条+1」等注意喚起チラシを配分金明細書等に同封して配布した。(6月)	会員への「安全就業基準」の遵守の徹底を図った。

事業名	実施結果	備考
② 事故の検証及び全会員へのフィードバック 【安全・適正就業推進委員会】	事故の4M分析を行った。また、該当就業先会員へ事故情報を周知し、再発防止を図った。	事故の4M分析を行い、事故情報及び安全就業基準との関連・原因を会員で共有化することにより、再発の防止を図った。
③ SOSカードの配布・携帯の徹底 【安全・適正就業推進委員会】	新入会員研修会時にSOSカードを配布し、安全・適正就業巡回等で周知及び携帯の徹底を図った。	就業中や就業途上での事故や病気の際の迅速な対応に繋げるとともに、作業前の点検事項や就業前に自身の体調を把握し、事故の未然防止及び健康意識の増進を図った。
④ 運転業務に関する安全就業基準の徹底 【安全・適正就業推進委員会】	車両運転者に対し、運転前の健康状態の確認、アルコールチェックを行った。また、事務局だより(9月号)にて、交通安全の周知をした。	車両運転を伴う作業を行う会員に対し、安全運転の推進を図った。
⑤ 受注及び契約時における就業現場の安全確認 【安全・適正就業推進委員会】	就業会員や担当職員が新規就業契約時及び契約内容変更時に確認を行った。	就業現場に潜む危険箇所を事前に確認することで、事故を防ぎ、危険を伴う可能性が高い作業については受注しないよう努めた。
⑥ 作業の受注量制限や休業日・予備日の設定の検討 【安全・適正就業推進委員会】	熱中症対策として、最高気温35度以上・暑さ指数31度以上で作業を中止するとともに、8月の作業は原則午前中のみとした。(植木班・除草班)また、作業会員に熱中症計を配布した。	過剰な受注による就業で、会員の体調管理が困難になることを防いだ。
⑦ 市が実施する体力測定の参加奨励 【安全・適正就業推進委員会】	事務局だよりで、市主催「体力チェックと運動講座」(5月・11月・1月号)を紹介した。	身体機能の低下を自覚し、事故の未然防止を図った。
⑧ 市が実施する健康診断の参加奨励 【安全・適正就業推進委員会】	事務局だより(9月号)にて「特定健診」の周知を行った。	自主的な健康診断の受診を奨励して、健康意識の増進を図った。
⑨ 安全標語の募集 【安全・適正就業推進委員会】	安全標語を募集した。(11月)応募人数26人 応募数71件	優秀作品を毎月の安全目標に設定し、センター内に掲示するとともに、事務局だよりに掲載し、安全就業の啓発に努めた。
⑩ ヒヤリハット体験の募集 【安全・適正就業推進委員会】	ヒヤリハット体験を募集した。(7月)報告件数2件	危険箇所の情報を共有して事故の未然防止を図った。

事業名	実施結果	備考
⑪ 安全就業強化月間（7月）における実施内容の検討 【安全・適正就業推進委員会】	委員会において、取り組み内容の検討を行い、7月の強化月間で反映した。	事故ゼロを目指すとともに、強化月間中における会員の安全意識の高揚を図った。
⑫ 「安全宣言」の実施 【安全・適正就業推進委員会】	安全就業強化月間に実施した朝礼で、「安全宣言」を唱和した。7月3日 参加者 37名	会員同士の安全意識の高揚を図った。
⑬ 各種講習会の開催等 【安全・適正就業推進委員会】	・自転車交通安全講習会 1月26日 参加者 15名	各種安全講習会を開催し、安全意識の高揚を図った。
⑭ 安全・適正就業巡回 【安全・適正就業推進委員会】	4月13日、7月28日、8月22日、9月19日、10月10日、11月15日、12月11日、1月23日、2月14日、3月19日実施	就業現場を巡回し、安全意識の啓発と適正就業の点検を行った。
⑮ 安全・適正就業推進委員会だよりの発行 【安全・適正就業推進委員会】	シルバーだよりはむら及び事務局だよりを活用し周知した。	会員に安全・適正就業の情報を提供し、意識の徹底を図った。
⑯ 自転車損害賠償保険への加入状況の確認及び制度の周知徹底 【安全・適正就業推進委員会】	派遣就業会員に対して自転車保険加入の確認を行った。事務局だより（2月号）で、制度の周知徹底を図るとともに、新入会員に対し入会時に自転車保険加入義務の説明・周知をした。	自転車損害賠償保険等の加入義務化に伴い、制度の周知徹底を図った。

## 4 就業の改善

### （1）未就業会員の解消

公共団体、民間企業、家庭及び関係団体等に、高齢者の就業機会の確保についての理解を求めるとともに、新入会員研修及び就業相談の充実など会員の就業率向上を図るため次の活動を行いました。

事業名	実施結果	備考
① 会員のメールアドレスに就業情報を送信するシステムの活用 【広報部会】（再掲）	会員専用ページ「Smile to Smile」に就業情報を掲載し、未就業会員の解消に努めた。	登録者数 135名

事業名	実施結果	備考
② ワークシェアリングの推進 【事業部会】	会員の意向を踏まえて、ワークシェアリングを実施した。 3名	より多くの会員に就業機会を提供できるよう、ワークシェアリングを推進した。
③ 就業基準の徹底 【事業部会】	継続就業希望会員へ就業期間満了先一覧を、年4回配布した。 ・5月15日～5月22日 資料配布会員7名 ・8月4日～8月10日 資料配布会員20名 ・11月1日～11月10日 資料配布会員19名 ・2月1日～2月9日 資料配布会員3名	就業基準を徹底し、長期就業の是正と未就業会員の解消を図った。

(2) 就業会員研修（派遣会員教育訓練）等の実施

事業名	実施結果	備考
① 財団主催の各種講習会情報を提供 【事業部会】	新入会員研修会や事務局だより等で、財団が実施する「就業支援講習」について周知した。	会員の技能の向上を図った。
② 会員の作業の質の維持・向上を図るための研修・講習会の実施の検討 【事業部会】	前任者からスムーズに作業を引継ぎ、作業の質を維持できるよう、民間の継続受託作業を中心に作業マニュアルを整備した。 家事援助コーディネーターが中心となって、清掃研修を実施した。 10月27日 参加者5名	整備した作業マニュアルを活用し、前任者からのスムーズな引継ぎに役立てた。 お客様の満足度の向上を図った。
③ 技能講習会の実施 【総務部会】 【事業部会】	「除草講習会」を令和6年5月に実施予定とした。	
④ ビジネスマナー研修 【事業部会】	「ビジネスマナー研修」を港区SCに委託することとし、令和6年4月19日に実施予定とした。	
⑤ 新入会員研修 【事業部会】	毎月1回（原則理事会翌日）開催 出席者73名	センターの事業趣旨、会員の心得、ボランティア活動等についての研修を行った。

### (3) 顧客満足度の向上

事業名	実施結果	備考
発注者アンケートの実施 (5年ごと) 【事業部会】	9月分～11月分請求書送付分に発注者アンケートを同封した。 調査件数 451通 回収件数 195通 回収率 43.2%	第3次中期計画策定の検討に役立てた。

## 5 適正就業の推進

事業名	実施結果	備考
① 適正就業ガイドラインに沿った事業運営 【事務局】	「適正就業ガイドライン」に沿って、就業形態(請負・派遣)や、月あたりの就業日数及び就業時間を考慮し、事業運営を行った。	適正就業ガイドラインを遵守し、適正就業を推進した。
② 会員、発注者に対し、適正就業ガイドラインの周知 【安全・適正就業推進委員会】 【事務局】	「適正就業ガイドライン」を新規発注者には受注時に、新入会員へは入会説明会時に配布し、適正就業の理解を求め、適正就業を推進した。	会員・発注者へ適正就業の理解を求め、適正就業を推進した。

## 6 社会奉仕等の推進

ボランティア活動を通じ、地域社会に貢献するとともに、会員の生きがいの充実やセンターの認知度と評価を高めました。

事業名	実施結果	備考
① ボランティア活動の推進 【総務部会】	地域班長に対し、新規入会者のボランティア活動への参加希望情報の提供を行った。また、新入会員研修会の際に、活動のPRを行った。	ボランティア活動への参加促進を図った。
② 市内清掃ボランティア活動の実施 【総務部会】	第1回 6月16日実施 参加者106名 ※雷雨のため開始直後に中止とした。 第2回 10月20日実施 参加者103名	会員による市内清掃ボランティアを行った。10月は東京しごと財団が行う「広報活動強調月間」に合わせて実施した。
③ 市事業等へのボランティア協力 【総務部会】	市の実施する「放課後子ども教室」ボランティア募集チラシを入会説明会の際に配布した。	「放課後子ども教室」へのボランティア登録を推進した。

事業名	実施結果	備考
④ 市内小学校通学児童見守りボランティア活動の実施【総務部会】	会員による小学校通学児童見守りボランティア活動を地域班単位で行った。 (週1回～5回) 羽村東小学校・羽村西小学校・富士見小学校・栄小学校・小作台小学校	◎各地域班の活動実績 実人員 延人員 1班 18名 367名 2班 12名 277名 3班 2名 72名 4班 13名 875名 5班 12名 152名 6班 7名 115名
⑤ 「ほっとカフェ」の実施【女性部会】	シルバーはむらふれあい祭り(11/25)において実施した。	市民や会員の交流促進を図った。
⑥ 保育園訪問ボランティア活動の実施【女性部会】	あおぞら保育園でバルーンアート披露の保育園訪問ボランティアを実施し、女性部会委員等5名が参加した。 11月7日訪問	地域貢献と女性会員の生きがいの充実を図るとともに、家事援助・育児支援サービスのPRに役立てた。

## 7 財源の確保

補助金の確保、自主財源確保のための受注拡大、業務の効率化、経費節減による安定した財政運営を推進しました。

事業名	実施結果	備考
① 国、都、市への補助金獲得のための要望【事務局】	国・都・市へ補助金の申請を行った。	安定した財政運営を推進するため、各種補助金の拡充及び継続を要望した。
② 自主財源確保のための受注の拡大、業務の効率化、経費節減による安定した財政運営の推進【事務局】	節電の実施、内部印刷の推進や自動車リース契約の見直しを行い経費節減に努めた。	より一層の経費節減に努めた。
③ 派遣事業拡大によるサポート補助金及び事務委任手数料の確保【事務局】	派遣事業実施に係る事務委任手数料収入を得た。	サポート補助金を最大限に活用し、事務委任手数料収入を確保した。
④ 自動車安全装置支援事業助成金の確保(追加)【事務局】	5台分の助成金を確保した。	
⑤ 情報通信利用促進支援事業費(利用者向けデジタル活用支援推進事業)補助金の確保(追加)【事務局】	デジタル活用支援推進事業を活用した「初心者向けスマートフォン教室」の実施にかかる経費所要額を確保した。	

## 8 組織の充実

理事会を中心に公益法人としての組織運営、財政基盤の確保やセンターにおける就業の適正化を推進するため専門部会等の活動に対する協力、助言等を行い、公益法人としての運営体制の充実に努めました。

事業名	実施結果	備考
① 定時総会	令和5年6月23日開催 ゆとろぎ小ホール 出席者470名 出席率79% (出席者59名、委任状による代理出席及び議決権行使書提出者411名)	令和4年4月1日から令和5年3月31日までの計算書類等の承認の件について決議した。
② 理事会	年13回開催	毎月理事会を開催し、センター運営や業務執行等について審議した。
③ 総務・事業・広報部会	随時開催	センターの事業運営を効果的に推進するため、各部会を開催した。
④ 女性部会	年5回開催	女性会員増強・就業拡大に関すること及び技能向上、文化活動に関すること等について検討した。
⑤ 安全・適正就業推進委員会の開催 【安全・適正就業推進委員会】 (再掲)	年5回開催	安全就業の方針の検討や対策、適正就業について協議した。
⑥ 就業開拓委員会 【就業開拓委員会】(再掲)	年3回開催	会員の多様な働き方に対応した就業先の確保とシルバー事業の拡大について検討した。
⑦ 中期計画推進委員会 【中期計画推進委員会】	実施なし	令和5年度は、第2次中期計画の最終年度となり、進捗状況等については、中期計画策定委員会で検討を行った。
⑧ 中期計画策定委員会 【中期計画策定委員会】 (追加)	年6回開催	第3次中期計画(令和6年度～令和10年度)を検討し、令和6年2月2日に会長へ答申した。
⑨ 地域連絡員会議 【事務局】	年1回開催	定時総会資料の配布を依頼した。
⑩ 地域班長会議 【事務局】	年3回開催	事業運営の情報伝達や要望・意見交換を行った。

事業名	実施結果	備考
⑪ 地域班への支援 【事務局】	地域班助成金と通学児童見守りボランティア助成金を各地域班に交付した。(6月)	地域班活動を支援することにより、地域班活動の活性化を図った。
⑫ 会員の親睦、交流の推進 【総務部会】	シルバーはむらふれあい祭り(11/25)において、会員の参加を促進し、親睦・交流を図った。	各地域班の会員相互のつながりを深めた。
⑬ 班体制を含めた地域班のあり方の検討 【事務局】	地域班長及び地域連絡員の具体的役割・業務量を再確認し書面にする等、後任役員へのスムーズな交替を促進させ、地域班役員の負担軽減となる方法について検討した。	より機動的に柔軟に動ける地域班体制を推進した。
⑭ 職員の人材育成のための目標管理制度の実施 【事務局】	目標管理制度を実施した。	目標管理制度を活用し、人材育成を図った。
⑮ 研修会等への参加による職員の能力向上 【事務局】	財団主催の各職層研修及び専門研修を受講し、能力向上を図った。	職員の資質向上を図った。
⑯ 派遣事業拡大に伴う、産業医及び衛生管理者、安全衛生委員会の設置 【事務局】	派遣会員数 20 名のため未設置。 (派遣会員数 50 人以上で要設置)	派遣会員数が 50 名以上となった場合、設置する。
⑰ 会員参画の運営 【事業部会】	事務局だより(10月号)に提案箱設置中の記事を写真入りで掲載し、会員からの企画提案を募集した。(提案0件)	